



さが

第 九 四 号

平成 二 九 年

西 曆 二 〇 一 七 年

孟 蘭 盆 七 月 号

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三二-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

曹洞宗 東運寺

たとえば北朝鮮に対しては、もしも、相手のことがも
っとわかったら、怖さはやわらぐでしょうか。

北朝鮮国内であっても、戦争に巻き込まれることを望
む人は、そうは多くないでしょう。なのに、なぜこのよう
な戦争の危機に、近づいていくのでしょうか。そのよう
なやり方でしか、自分たちの尊厳が守れないと思ってい
るのでしょうか。

お釈迦さまは、

「すべての者は暴力におびえ、命を愛しく思う。自分
にひきくらべて、殺してはならない」

という言葉を残されています。

国同士の諍いだけではなく、私たちも「自分にひきく
らべて」想像する冷静さを持つことで、無用の争いから
逃れられるでしょう。どうか、暴力が不安の解決にはな
らないということにたどり着いて、そこからもう惑わな
いようになっていってほしい、と願っています。

このところは国内でも海外でも、大きなニュースが続
きますね。相次ぐテロ事件、さらに北朝鮮についても、関
心を持って見ておられるのではないのでしょうか。いずれ
も日本の安全に、大きな影響を与える問題です。

どんな人が、どのような思いでもって暮らしをしてい
るのか、はつきりとわからない国や組織が、紛争のきつ
かけとなるような危険な行為を繰り返す。そんな不安を、
間近で感じるのではないかと思えます。

どうも私たちには、知らないもの、わからないものへの
怖さがあるようです。

そしておそらく、その疑心暗鬼が、暴力を生み出して
くる原因になるのではないのでしょうか。



春のお便りで書いておりましたように、京都市北区のお寺にておこなわれた晋山式において、住職の子の一人が大役をつとめました。

それは「首座（しゅそ）」と呼ばれ、晋山式をおこなう新住職に代わって教えを説くという、重要な役目を負うもの。曹洞宗では、首座をつとめることによって、お坊さんの階段を一步昇るのです。

とくに注目されるのが、大きな声で禅問答を交わす式。覚えなければならぬことが、たくさんあります。緊張の中本番を迎えましたが、まわりの人たちのあたたかい指導もあって、ぶじに終わることができました。

ふたりとも、今春から曹洞宗門の大学である、駒澤大学に進学したばかり。まだまだこの世界では「ひよっこ」です。これからの成長を、どうか見守ってやって下さい。



「本則（ほんそく）」という、禅問答のテーマが書かれた書物を、うやうやしく運んでいます。

お盆のお参りは

おおよそ、毎年とおなじ日時でお伺いする予定です。

定以外にお住まいの方には、このお便りに「棚経のご案内」を同封しております。どうかご確認ください。

定にお住まいの方には、あらためてのご案内は入れておりません。例年通りの日時でお伺いいたします。どうかよろしくお願い申し上げます。

秋の団参は大本山永平寺へ！

毎秋恒例の参拝旅行です。今年はひさびさの、永平寺参拝です。ご参加くださったみなさまの、ご先祖さまのご供養も本堂にていたします。

日時 十月三十日（月）～三十一日（火）
宿泊 石川・山代温泉「森の栖」
参加費 三二、〇〇〇円（供養料込み）

住職がこの団参の係をしています！
たくさんのご参加を、心よりお待ち
申し上げます！



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→